



撮影：賛助会 第1ブロック 平野武信氏

自治体病院とともに48年

理念

公益社団法人自治体病院協議会と自治体病院の発展に寄与することを目指します

基本方針

- ①協議会と協議会所属病院が行う事業に対し協力します
- ②会員を対象とする研修会等を実施します
- ③その他本会の目的達成のため必要な事業を行います

会員

病院事業に関わる事業を営む者で本会の主旨を十分に理解した法人です

巻頭 公益社団法人全国自治体病院協議会 原義人副会長インタビュー

お役立ち情報

●収益向上のための 病院広報戦略

●病院見学レポート

●公立刈田総合病院を見学

賛助会活動報告／賛助会会員名簿

新たに公益社団法人 全国自治体病院協議会「原義人副会長」についてお聞きしました。又、インタビューでしたが、笑顔を絶やさず、直な優しいお人柄が良く伝わって



医療の質、医療の しっかり盛りた

聞き手：全国自治体病院協議会・賛助会
市川秀和 会長
伊藤誠 副会長
宮田賢次 副会長
重田和彦 第2回研修委員
平岡秀一 広報委員長

■自治体病院の役割

自治体病院は、地域医療の中核を担うだけでなく他の病院ではやらないような不採算部門も積極的に行っておられるとお聞きしています。

■原副会長

その通りで、自治体病院の本当の役割は、まずは救急だと思います。後は他がやらない小児、周産期、そこをしっかりとやって、更に周りにあまりやるところがなければ、高度な医療でがんとかか循環器とかね。そういうことをやっていけたらいいと思う。青梅は、周りにそのような事を強力にやっている病院が無いものだから、当院がそれら全部をやっているけど、何はともあれ救急がとても大事だと思っています。

■抱負

副会長にご就任にされての抱負について教えてください。

■原副会長

全国自治体病院協議会の中で、診療報酬（DPCも含めて）、それから診療情報、医療の質や医療の安全といった分野が、私の担当ですので、その辺をしっかりとやっていきたいと思っています。

幸い医療の質に関しては、今度皆さんの前でお話することになっていますね。

ついこの前まで（平成22年4月から25年3月）、日本医療安全調査機構という、医療事故があったときに第三者的に

事故調査を実施し報告書を作成する機構の中央事務局長を務めていましたので、医療事故調査に関しては、かなりの経験を積んできました。そういう経験もこれから活かせるのではないかと考えています。

診療報酬に関しては、もう7～8年全自病協の診療報酬対策委員会の副委員長の立場でやってきていますし、日本病院団体協議会の実務者会議の委員も務めています。

以上、抱負は、邊見先生をしっかりと補佐することと、自分が担当になった分野に関して着実に仕事をしていきたいと思っています。

■特色

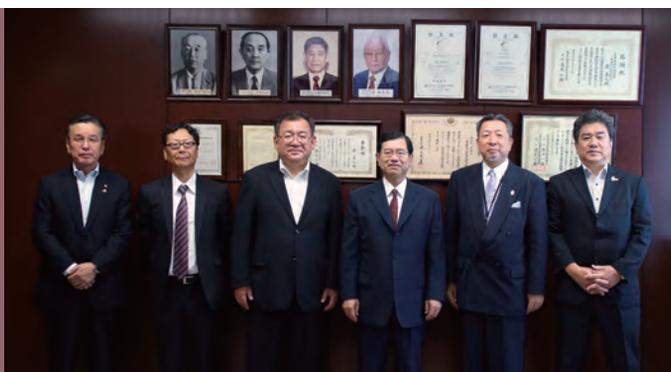
青梅市立総合病院の特色はなんでしょうか。

■原副会長

当院には救命救急センターがあり、30床です。さらに地域がん診療連携拠点病院でもあります。従って、救急の超重症から、がんのような比較的慢性であるものの高度な医療が必要な病気まで広く対応しています。また、365日24時間の小児救急と休日全夜間の救急が、東京都に指定されていて、ここ西多摩保険医療圏では、ここだけです。産婦人科もがんばっています。うちの産婦人科はすごいですよ。帝王切開が必要だというと、何分で手術の準備が出来ると思いますか。たった15分です。それを、しょっちゅう訓練している。帝王切開が必要だという判断が下がったら、手術室と連携して、帝王切開がすぐできる、それだけ母子の救命率が高いと思います。非常に頑張っていると思う。でも年々分娩が減ってきて、昔は年間1300件あったけど今は、800件。少子化のためでしょうね。周りがどんどん分娩を扱うようになっていくわけじゃないから、減っていると云う事は都心に流れているか、里帰り出産でどこかでやっているか。だけどそんな昔と変わらないと思うので、やっぱり絶対数が減っていると思っています。

体病院協議会の副会長にご就任された青梅市病院事業管理者兼青梅市立総合病院長 原義人先生に「抱青梅市立総合病院の「特色」や賛助会への「要望」についてもお話をお伺いしました。お忙しい中でのインタ親切丁寧にお話を頂き、院長先生の患者だけでなく、病院職員にも気配りをされておられると感じられ、実まいました。

の安全を てていきたい



後は、循環器が頑張っている。PCIというステントを挿入する治療だとか、特に、心房細動などの不整脈の電気の治療がすごく得意です。これをアブレーションとっています。が年間200件以上やっています。

また、内科の全領域に優秀な専門医がいることも大きな特色です。

■今後の課題

原副会長

一番の課題は、病院の建て替えです。昨年度に基本構想を作って、今年度は基本計画に着手したところ。今年4月に総務省が新公立病院改革ガイドラインを出しました。その第1番目に、地域医療構想が策定されたらそれに整合するよう病院機能を明確化し、それに沿った計画を立てるように促されています。従って、東京都の地域医療構想が確定しないと当院の計画もこれ以上進められない状態にあります。さらに、総務省がいうには、今、建設費が非常に上がっている、それがいずれ下がるであろうと。そこまで待てと。だけど、そんなこと言われたって、待てられないと、私は思うけど、まあその辺の見極めが非常に難しいですね。今後いろんな人に意見を聞いていきたいと思っています。遅くともオリンピックが開催される2020年には着工はしたいと思っています。

■賛助会へ望むこと

賛助会として、自治体病院の公的な部分に配慮しながら、もっと情報提供を含めお役に立ちたいと思っています。

原副会長

私は、何とか病院の中で、事務的なことも含めいろんなことを勉強してもらって、自分たちで何でもできるようになってもらいたいと思っていますが、自治体病院というところは、

事務職員が、本庁から来ては3~5年でまた帰っていくということがあり、知識がなかなか蓄積しにくい。特に用度などは、折角いろいろ覚えてくれても戻ってってしまうから、なかなか知識が蓄積出来にくい。従って、ベンチマークというか、他の病院はどうなのか、うちの病院はうまく買っているのかと云う事がよく分からない。そういった相場的な事を賛助会の方々に具体的に教えて頂ければ助かると思います。また、賛助会の各会社がどういうことを得意としているかよく分からないこともあるので、それも教えて頂ければありがたいです。

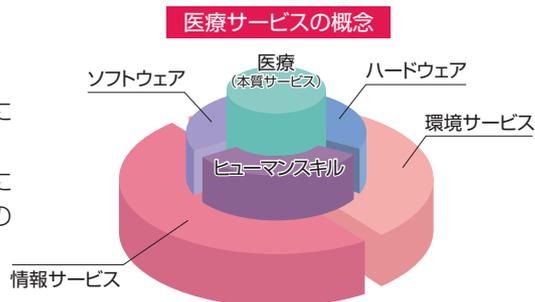
■個々の企業としてではなく、賛助会として 公正公平な立場で取り組みたい

我々賛助会も、協議会の病院の方々に賛助会のメンバーが何をやっているかきちんとお伝えできていないので、賛助会に何を質問すればいいのかお分かりにならないのだと思います。是非、機会を頂いてお知らせできればと思います。そして、実際に協議会からご質問頂ければ、賛助会の会員である個々の企業から単独にご回答するのではなく、公的な部分を考慮し、公正公平な対場で賛助会から回答させて頂きたいと考えています。



1 医療の提供は「サービス業」である

医療サービスの概念は本質サービスである医療を中心に、成り立っています。医療満足は、中心部の「本質サービスの充実」に加え、表層部をなす情報や環境による「表層サービス」を充実させることで実現されると言われています。現代の医療サービスは、本質サービスの医療のみでは完結せず、もう一つ外側にあるソフトウェア・ハードウェア・ヒューマンスキルという機能が無くしては本来の基本サービスは成り立ちません。



2 広報はサービスの満足度を高める

広報はわかりやすい院内表示や広報誌などでの、さまざまな情報提供により「表層サービス」を強化するだけでなく、サービスの満足度を高める効果をもたらします。特に、目に見える院内風景や掲示物、掲示板などのデザインや、スタッフのさりげない態度や、わかりやすい説明・助言、身だしなみなどが広報の重要なポイントになります。これにより患者が医療機関に対し安心感や信頼感を持つようになります。その結果、本質サービスである医療もますます成果を上げやすい環境となり、患者への満足度は、よりよいサイクルを始めます。

3 病院広報の対象と手段

病院広報のコミュニケーション対象は、院内外に広く及びます。また、病院における具体的な広報の手段は、近年さまざまな方法がみられます。

例えばイベントの開催や広報誌の刊行、院内サイネージシステムの導入などです。しかし、規模、目的、対象などによっては、その事例をそのまま真似をしても効果が上がるとは言えないようです。独自の考え方で身の丈にあったことを実行してこそ本来の病院広報の価値があるといえるでしょう。

様々な病院広報の手段

- イベントの開催
- 医療ボランティア
- 地域医療懇談会
- 広報誌の刊行
- インターネット
- 広告(駅看板、院内広告など)
- 著名人支援や診察券の活用など



■ 病院見学レポート

賛助会から16名が参加し、平成27年8月26日に公立刈田総合病院を見学させていただきました。当日は施設見学として外来・免振装置・外部テラス・病棟だけでなく院内保育所までも案内して頂きました。

建物としては、低層病棟の長方形1棟でありレイアウトが非常にシンプルなのが特徴でした。そのため、患者からはどこに行くにも分かりやすいとの評判を頂いているとの事でした。

その後、東日本大震災時の病院内での状況等についてお話を頂きました。

免震構造が地震時どのように働いたか、エレベーターが非常停止した際、院内の様子はどうか、今後検討すべき事項等、現場の生の声をお聞きました。

特に興味深かったのは、停電のためエレベーターが動かなくなり階段を上がり下りするしかなかったものの、こちらの病院の特徴の一つである低層建物であったことが幸いし、高層建物に比べ苦勞は格段に少なかったとの事でした。このことは、昨今建物が高層化傾向にあることを考えると、非常に考えさせられました。

また、災害対策についてもお話を頂きました。災害対策の一つに燃料確保が上げられるとの事でした。このことは、災害時に重油の確保に苦勞され、停電復旧したのは地震発生から3日後だったことから万が一に備える工夫が必要との事でした。現在では、市内の燃料店と優先供給の災害協定を締結されておられるとの事でした。

大橋病院長、遠藤事務長を始め多数の病院関係者から親切丁寧に病院のご説明をして頂き参加したメンバー全員が勉強になったのはもちろんのこと、非常に有意義な見学会となりました。



「成り立ち」

当全国自治体病院協議会・賛助会は全国自治体病院協議会が1962年4月に設立されたのを受け、自治体病院の発展に寄与することを目的とし、1968年7月17日に病院関連の有志企業によって結成されました。

現在は121社(2015年9月1日現在)が加入し協議会会員自治体病院に対し医療にかかわる情報の提供、業務改善提案、学会、研究会、講習会、展示会等に対する協力等の事業を行っています。又、様々な行事を通し会員相互の向上を図るための活動も積極的に行っています。

主な活動

- 1 定時総会(年次活動報告、収支報告、監査報告)
- 2 協議会との意見交換会
- 3 研修会(講演会、病院見学会等)
- 4 新春賀詞交歓会
- 5 全国自治体病院学会や地方学会への参加
- 6 協議会との情報交換会(協議会に対し最新事例や業界最新動向・情報を発信)
- 7 寄付活動(協議会及び学会へ)

平成27年4月9日(木)
第48期 定時総会



会場:ルポール麹町
総会では、1年間の行事報告や賛助会運営についての提案が行われ議論されました。又、新しく三役が選出され48期体制が決定しました。

平成27年6月25日(木)
意見交換会



会場:剛堂会館
賛助会から多数の会員会社が出席し、協議会の方々と活発に意見が交わされました。

平成27年度(年6回開催)
役員会



会場:剛堂会館
定期的に開催される役員会において、三役並びに各担当役員より活動状況が報告され吟味されました。

平成27年9月17日(木)
第1回研修会



会場:ホテル古柏園
2日間の研修を通じて最新の病院状況や会員会社の親睦が図られ有意義な研修会となりました。

全国自治体病院協議会・賛助会

当賛助会は、公益社団法人 全国自治体病院協議会への協力と自治体病院の発展に寄与することを目的としています。

第1ブロック 医療機器部門 (27社)

協和医科器械(株)
グリーンホスピタルサプライ(株)
株グリーンメディカル
コヴィディエンジャパン(株)
コニカミノルタヘルスケア(株)
サカセ化学工業(株)
サクラ精機(株)
シーメンス・ジャパン(株)
シスメックス(株)
株島津製作所
ジョンソン・エンド・ジョンソン(株)
すみれ医療(株)
株タカゾノ
株千代田テクノロ
テルモ(株)
日機装(株)
ニプロ(株)
日本光電工業(株)
日立アロカメディカル(株)
株フィリップスエレクトロニクスジャパン
フクダ電子(株)
富士電機(株)
富士フィルムメディカル(株)
株ホギメディカル
美和医療電機(株)
村中医療器(株)
株理舎

第2ブロック 設備部門 (27社)

アーバス技研工業(株)
株IHI汎用ボイラ
株AiHO
アイホン(株)
株アルメックス
株S&Sエンジニアリング
荏原冷熱システム(株)
株岡村製作所
株ケアコム
コクヨファニチャー(株)
斎久工業(株)
株三晃空調
シーホネクス(株)
株スローライフジャパン
株セントラルユニ
ダイキン工業(株)
ダイダン(株)
東洋熱工業(株)
株日本シューター
日本調理機(株)
株パートナ
パナソニックヘルスケア(株)
パラマウントベッド(株)
不二サッシ(株)
株フジマック
フランスベッド(株)
文化シャッター(株)

第3ブロック 設計建築部門 (23社)

(株)梓設計
株石本建築事務所
株伊藤喜三郎建築研究所
鹿島建設(株)
株教育施設研究所
株楠山設計
株久米設計
株佐藤総合計画
株昭和設計
株大建設
株竹中工務店
株田中建築事務所
株内藤建築事務所
西松建設(株)
株日建設
株フジタ
株松田平田設計
株三菱地所設計
株村田相互設計
株山田総合設計
株横河建築設計事務所
明豊ファシリティワークス(株)
三井住友建設(株)

第4ブロック 製薬部門 (12社)

エーザイ(株)
大塚製薬(株)
協和発酵キリン(株)
興和(株)
参天製薬(株)
大鵬薬品工業(株)
武田薬品工業(株)
田辺三菱製薬(株)
日本ケミファ(株)
Meiji Seika ファルマ(株)
持田製薬(株)
東和薬品(株)

第5ブロック 資材サービス部門 (32社)

(株)アイシーエム
株アイセイ薬局
株アベックス
株HRシンフォニー
SBSロジコム(株)
株エヌジェーシー
株エフエスユニマネジメント
株サンシステム
株サンワ
株ジェイワールドトラベル
株じほう
株ジャパンビバレッジ東京
株ソラスト
損害保険ジャパン日本興亜(株)
大日商事(株)
株トータルシティビル管理

トータル メディカル コンサルタント(株)
株ニチイ学館
株日本経営戦略人事コンサルティング
日本調剤(株)
日通旅行(株)
日立メディカルコンピュータ(株)
富士産業(株)
ベストワールド(株)
株丸井工文社
株LSIメディエンス
株メディネット
八尾医療PFI(株)
株ヤマシタコーポレーション
株ライフケアパートナーズ
ワタキューセイモア(株)
クオール(株)

総会員数121社 平成27年9月1日現在

※各会員企業へのご連絡・ご相談は…

下記URLよりご確認下さい
全国自治体病院協議会・賛助会
ホームページ <http://www.jmha-p.net/>

平成27年度三役会社

会長会社 鹿島建設(株)
副会長会社(会計) 株伊藤喜三郎建築研究所
副会長会社(総務) 日立メディカルコンピュータ(株)